

第111回例会 事前アンケート

(2018年3月~5月実施)

対象：消化器病学会九州支部会員

有効回答：177名

注) バイアスあり：

学会メール通知の他、消化器病学会教育講演会(3/25)や研究会で周知、回収したアンケートです。

よって、勉強に出ることができる環境の会員が多くふくまれます。

ご協力いただいた会員の皆様、

ありがとうございました。

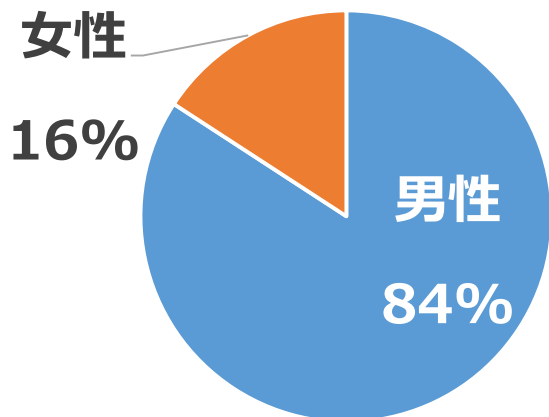
2018年5月23・24日の第111回日本消化器病学会九州支部例会において

【トップリダーにきく！老若男女が支え合う理想的な消化器診療体制とは!?】と題し、女性医師の会主催の特別企画を行いました。

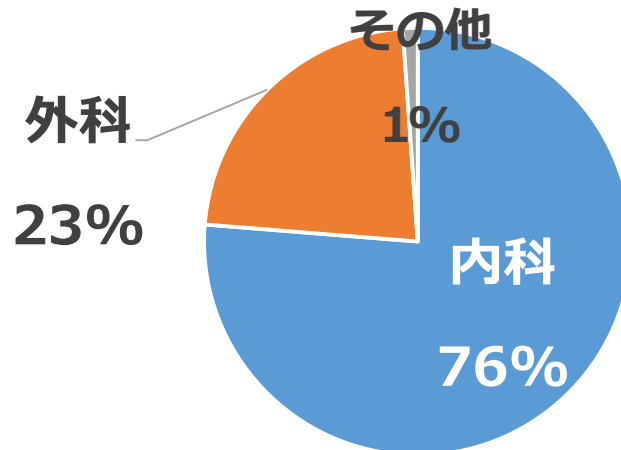
このアンケートは、企画の参考とするため、事前に実施したものです。

アンケート回答者背景

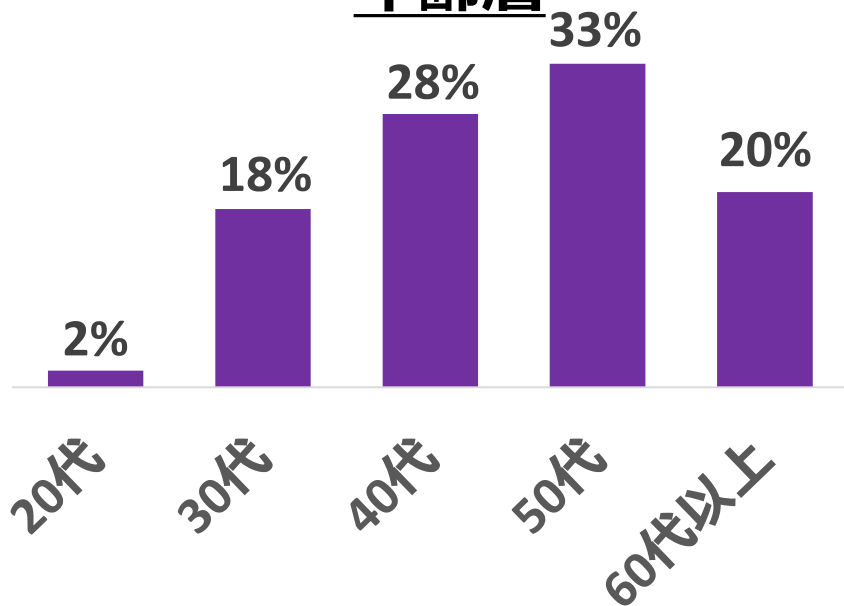
男女比



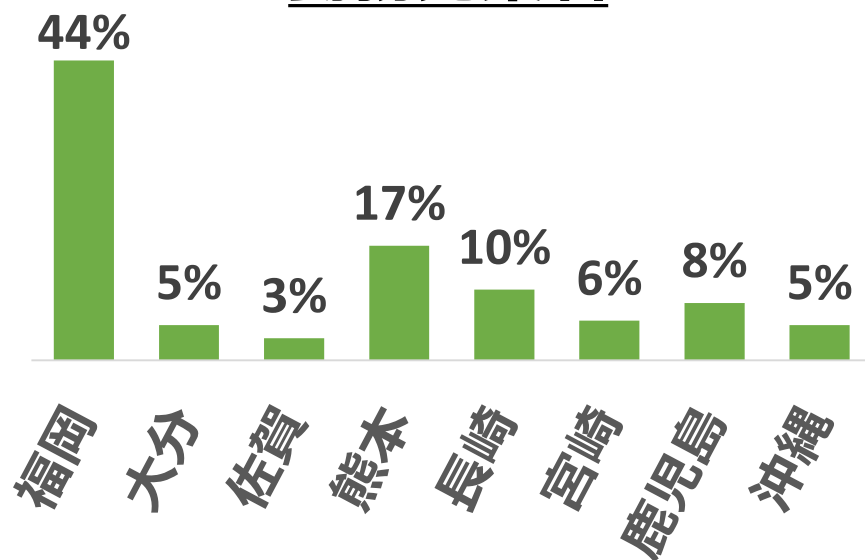
専門領域



年齢層

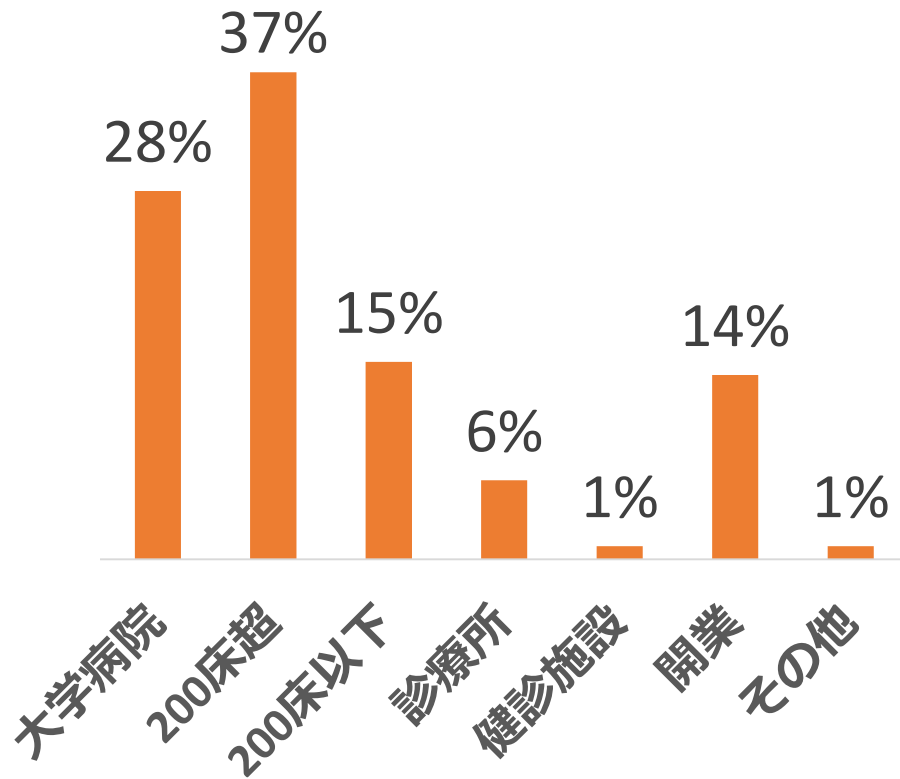


勤務先県名

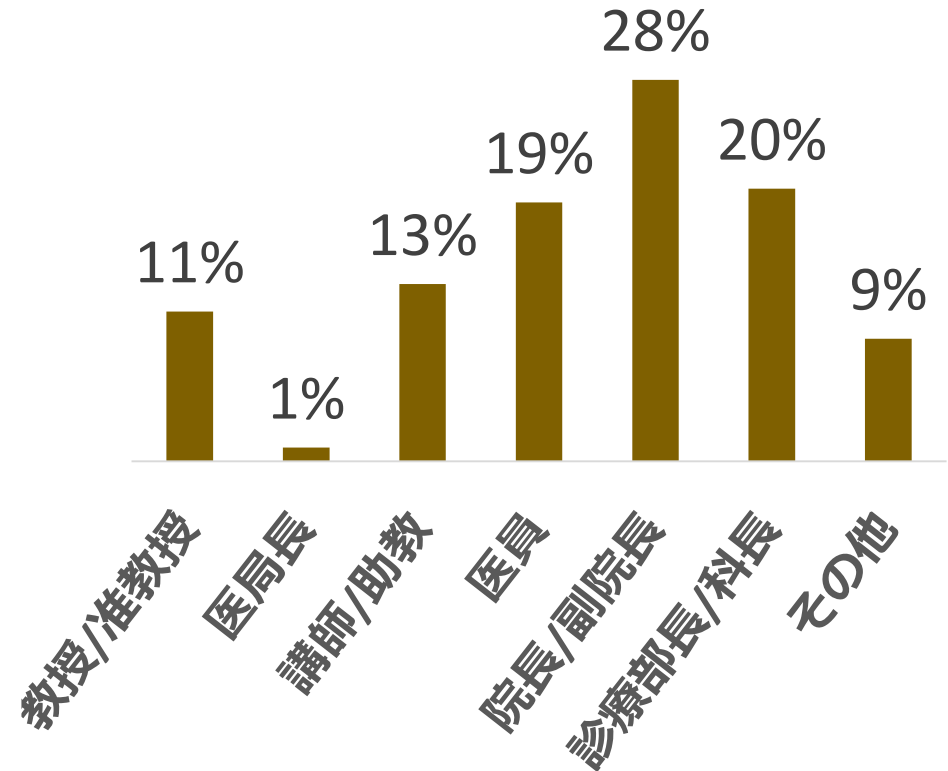


アンケート回答者背景

病院規模

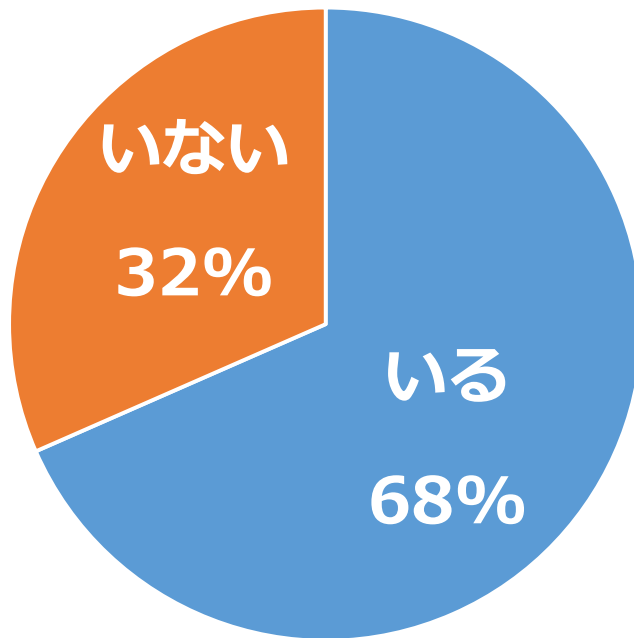


役職の別

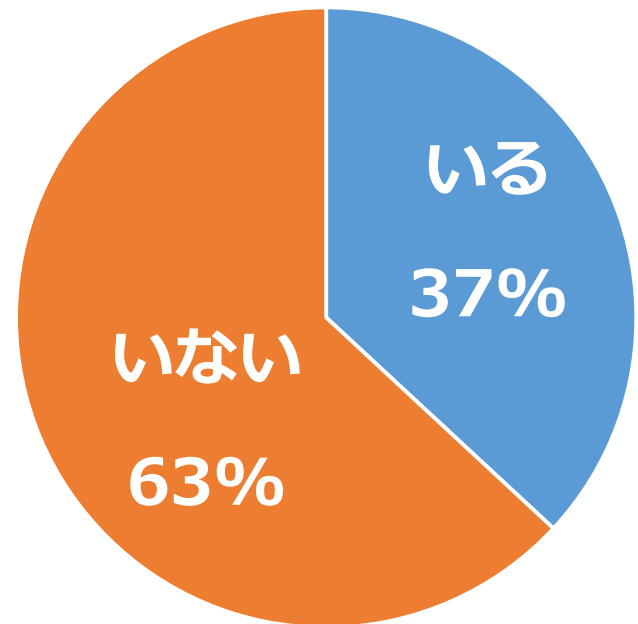


女性の常勤 or 非常勤はいる？

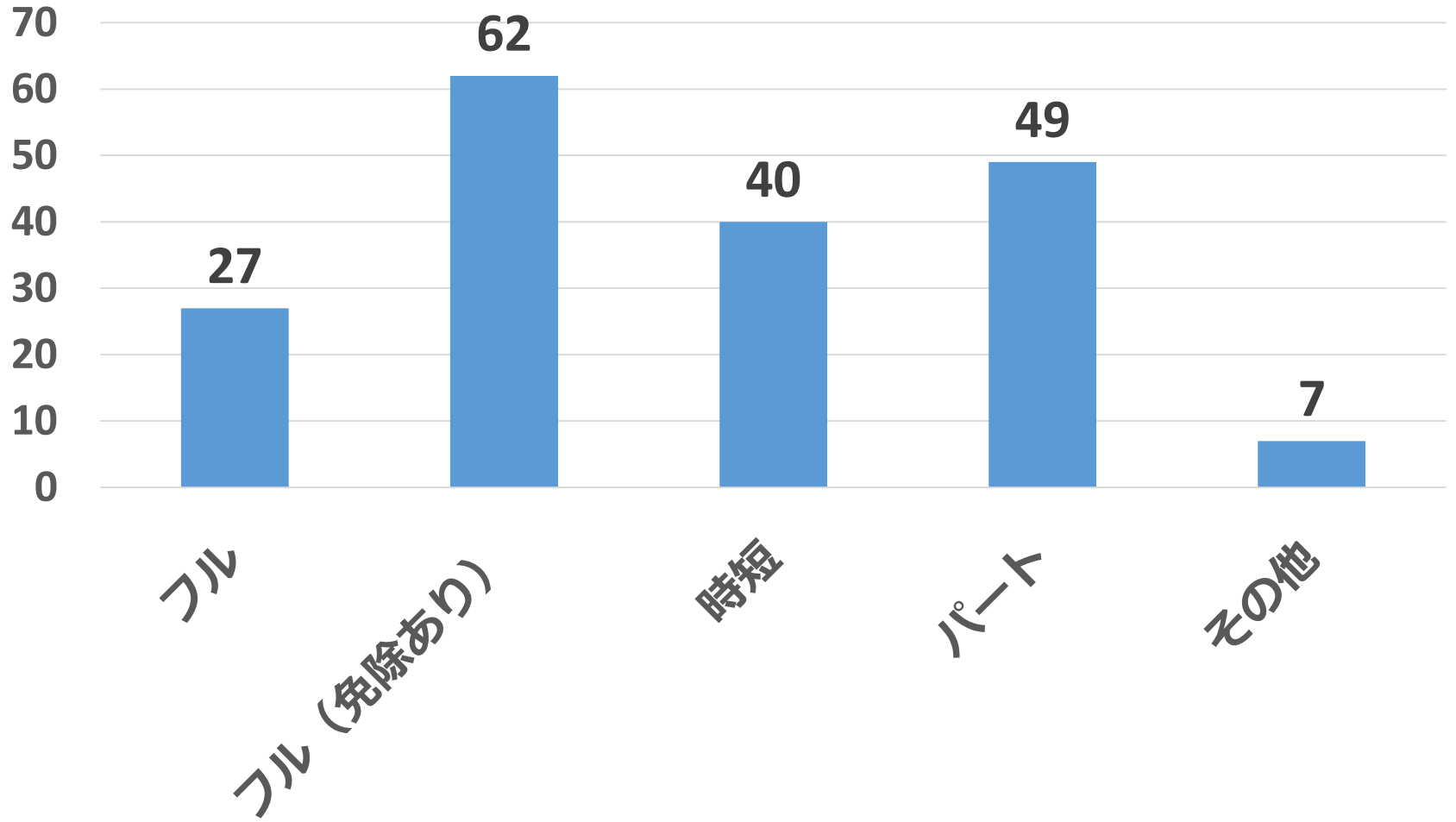
女性常勤



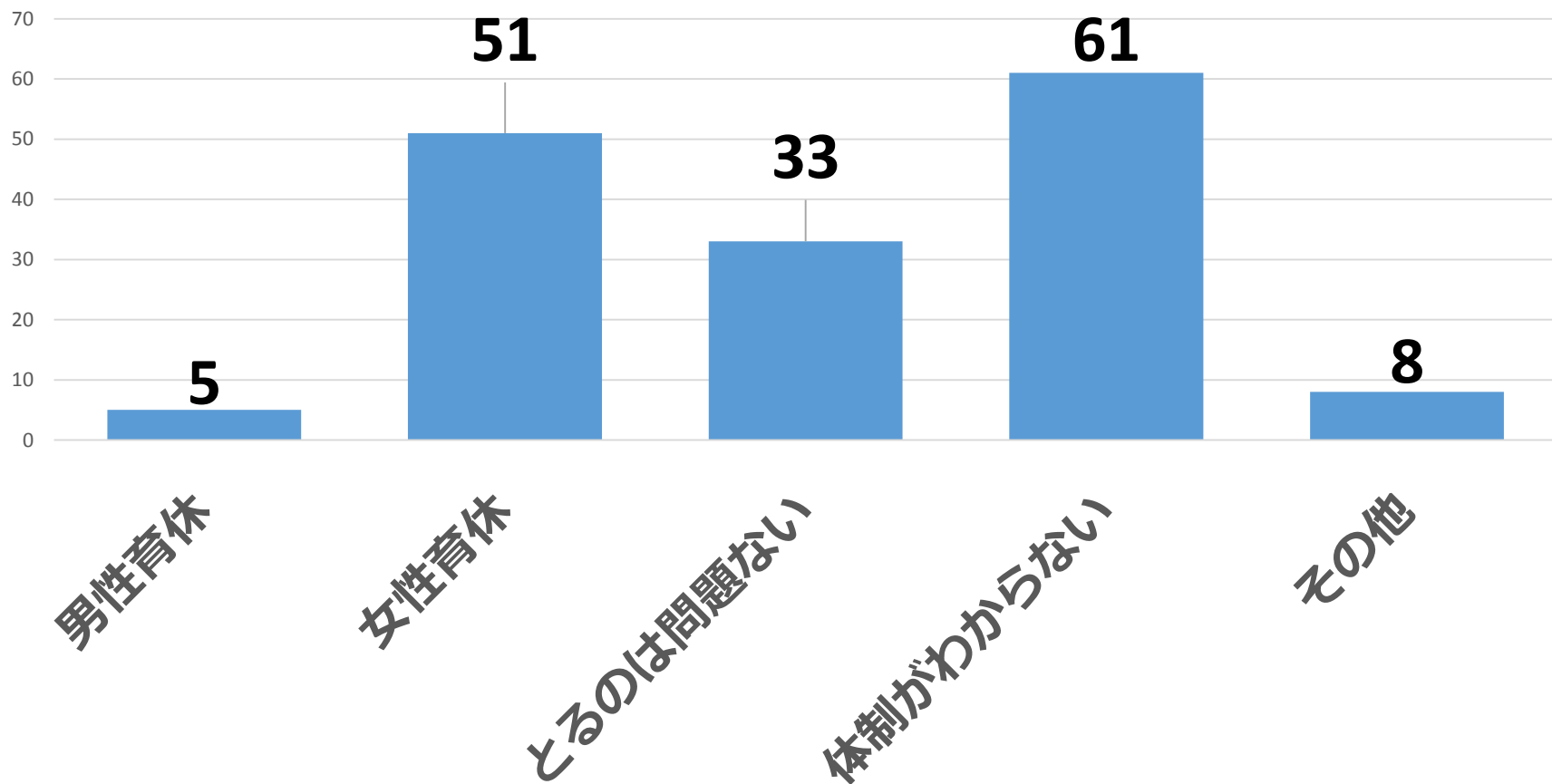
女性非常勤



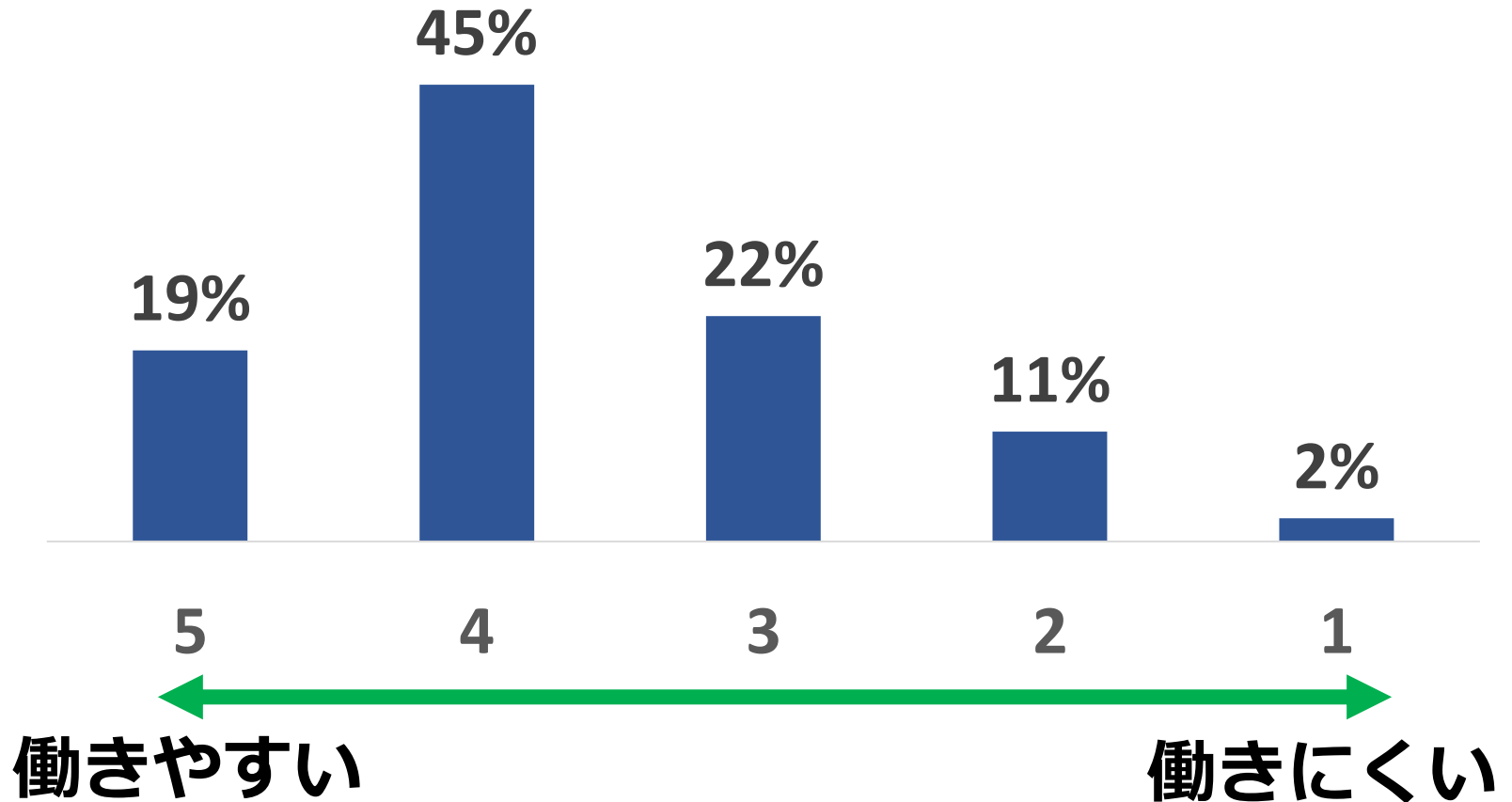
育児中女性の勤務形態は？



育休について（過去10年の取得状況）



働きやすさ (全体)



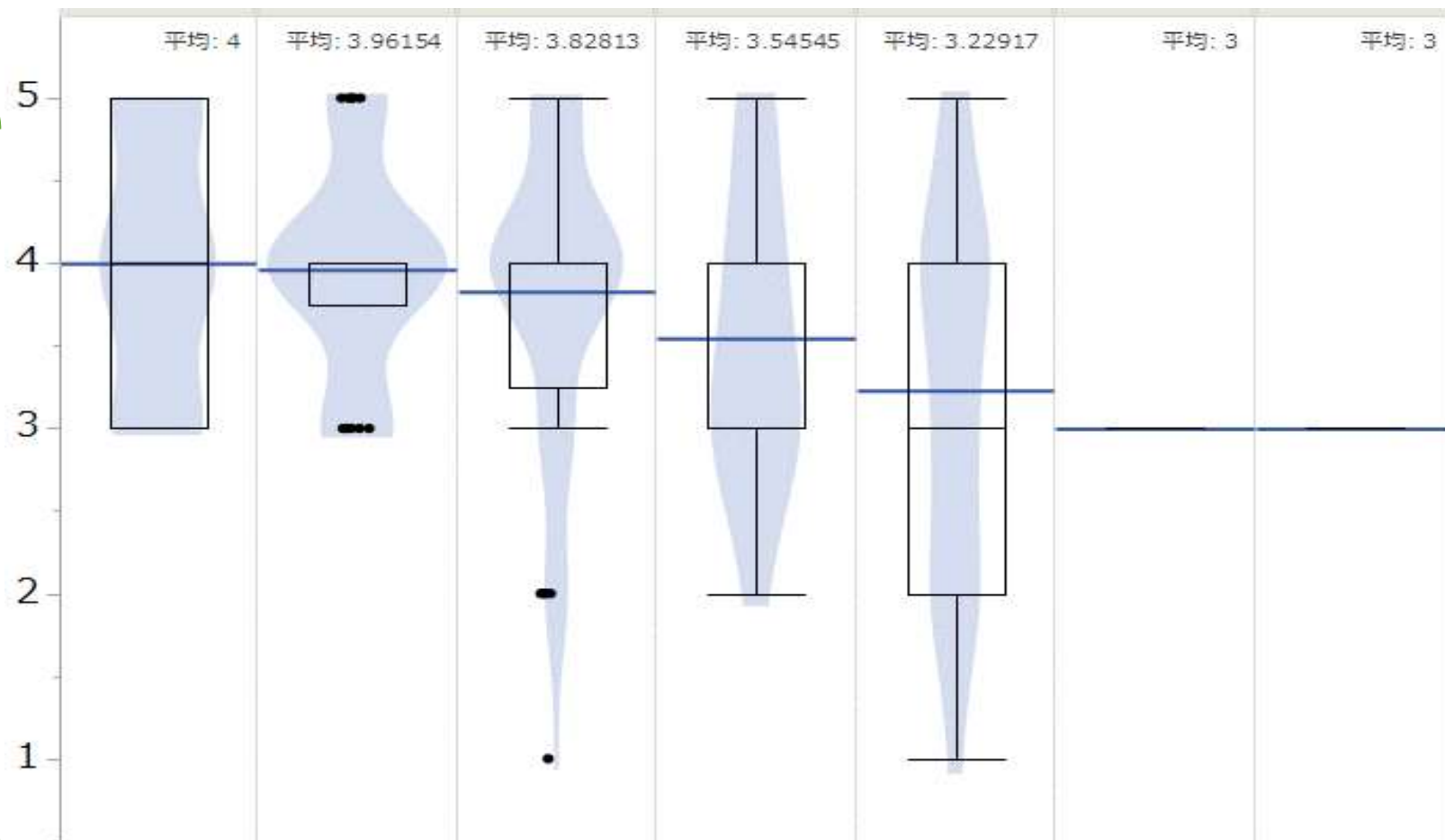
働きやすさ (病院規模別)

開業 200床以下 200床超 診療所 大学病院 健診施設 その他

働き
やすい



働き
にくい

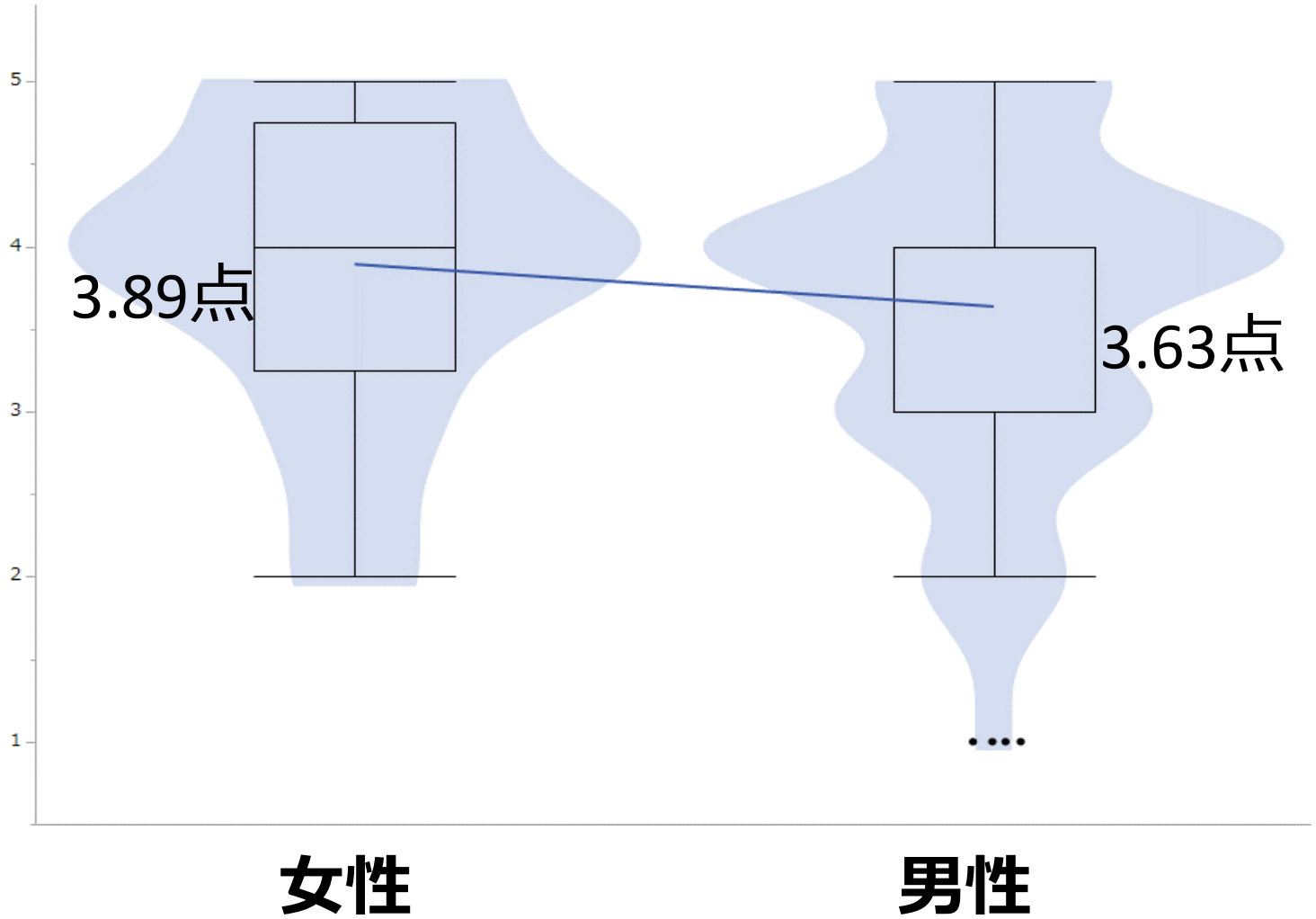


働きやすさ (性差)

働き
やすい



働き
にくい



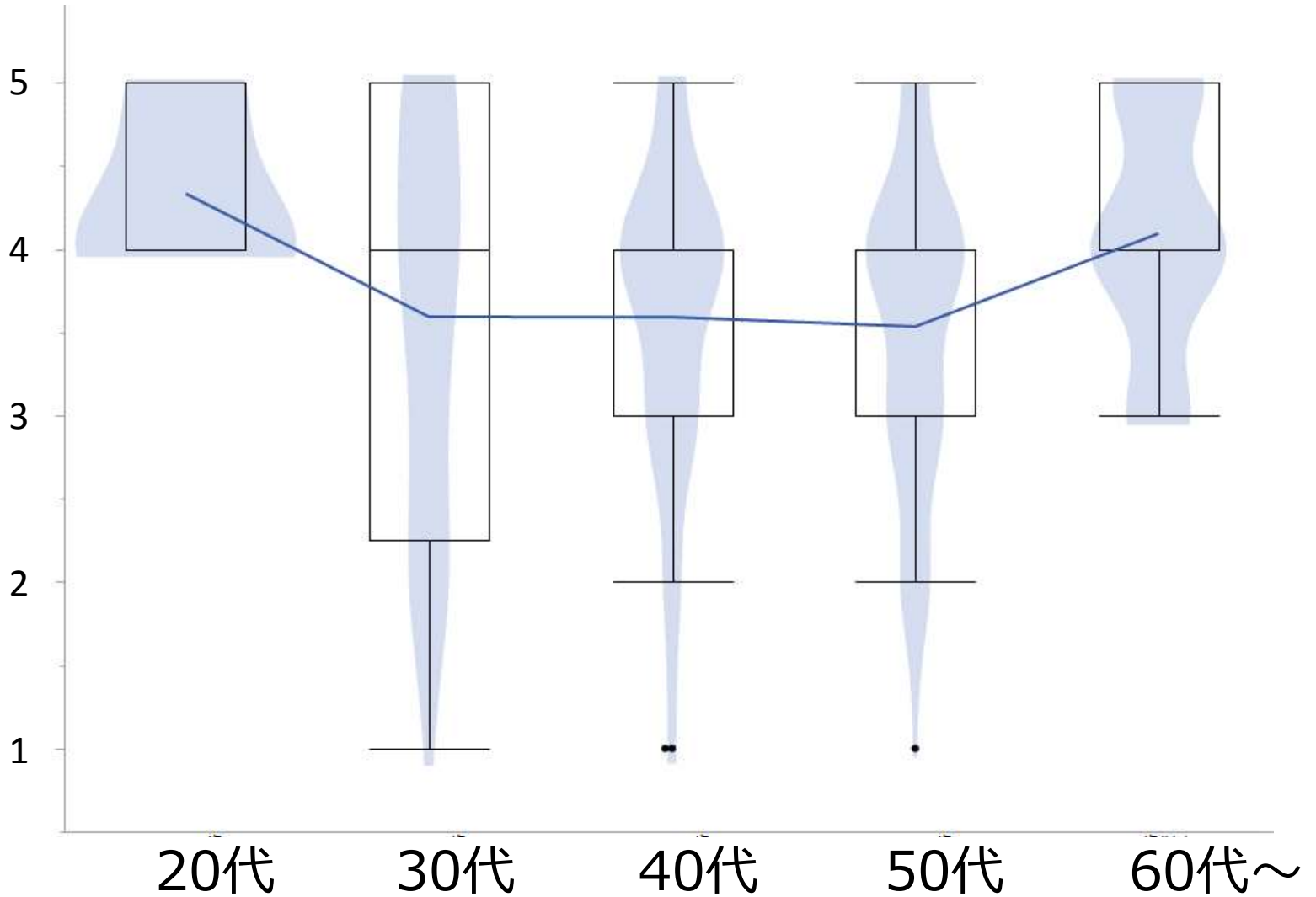
✓ 性差はとくにない

働きやすさ（年代別）

働き
やすい



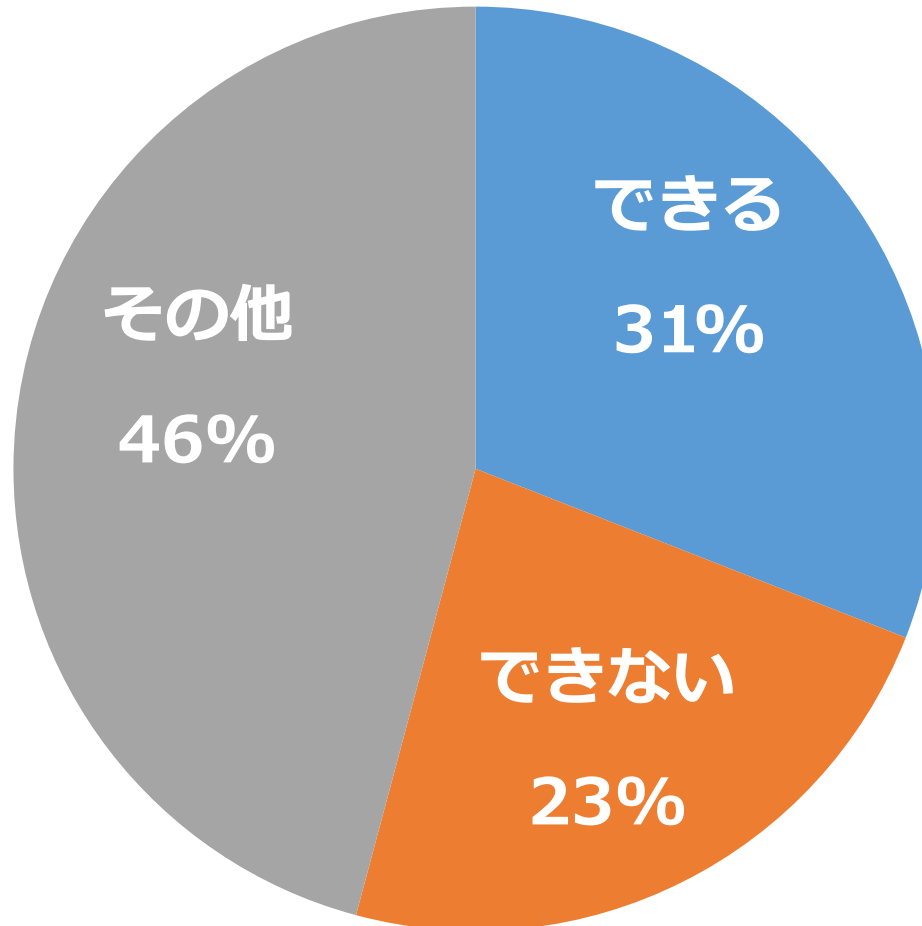
働き
にくい



✓ 中堅が一番ツライ？

予測できない職員の休暇への対応

✓ 予測できない休暇を「サポートできる」のは3割



アンケート回答意見から 語り合う

(問題は? → 解決策のヒントは?)

女性からの意見…

- 多忙で女性は育児との両立が困難
- 昇進、学会発表など女性がなんでも後回しの傾向。理由がないと休みがとりにくい
- 男性が多く、女性医師の立場などを理解されていない。遅くまで帰れない研究グループもあり、家庭があると敷居が高い。
- カンファの時間が早かったり遅かったりで育児中だと参加が難しい

女性の働き方？

- 出向先の理解がえられず女性は医局在任が多い。
- 以前、複数の女性医師が休職休業となり、対応が難しかった。個々の負担増に依存して対応している。出産・育児の期間遠方の医療機関での勤務が難しい。
- 女性医師にも診療やキャリアに対するモチベーションに差があり、復職の形態が一樣でなく、医療機関や教室のニーズに合わないことも多い。

女性の勤務体制やキャリア支援の実際

- 学会出席も常識範囲内の参加はいつでも可能。
- 女性内視鏡医に対する**キャリア・復職体制**をとっている。復職にむけて**シミュレーターなどの練習設備**が整っている。
- 本人の希望をきいて職場をきめている。大学から20分以内の病院勤務で対応。
- **育児に協力的な男性医師が増えてきた**と思う。

ハード・ソフト面の整備は？

- 託児所が24時間だから
- 通勤しやすい環境
- 院内に女性医師のための当直室・仮眠室が整備されている
- 働き方に関する部署がある

勤務時間や処遇整備は？

- 有休21日は積極的に活用するよう院長命令がある。
17時に必ず科長が業務終了を宣言するので帰りやすくなった。
- 1日8時間であれば、出勤退勤時刻にあまり制約がない。
- 個人の状況に合わせた時間で働けるが、非常勤という雇用形態になるのが残念。
- 当直がきつく時間外も多い、薄給。

老若による配慮は？

- 50歳以上は当直免除、55歳は土日日勤も免除の規則。
- 年齢が上になると当直からはずれ休日の日直になる。急変や専門科のコンサルトが深夜となった場合までは配慮されることはないなのでそれを体力的負担と考えるベテラン医師はいる

外科ならではのなやみは？

- 外科の特徴として**時間外勤務**も長くなりやすい。働き方改革で勤務時間短縮にむけて様々な取り組みを行っている。
- 手術が大部分を占めるので**柔軟な勤務時間形態**がとりにくい。
- **バックアップ体制**ができている。
女性外科医への理解がある。

リーダーの理解は重要

- 診療部長が理解があるため、他のスタッフからも理解してもらいやすい環境。
- トップの意識が重要で、理解があるので意見がしやすい。
- 変革途中ではあるがトップの考え方がWLBを考えないトップであれば話し合いがすすまない
- 総合病院だが各科まかせの体制。病院、学会、大学で対策を考える時期にきている。

働き方改革ジレンマ

- 育児中で、急な休みも周りがサポートしてくれ理解がある反面、
周りの負担を考えると時に心苦しく感じる
(女性意見)
- 育休・介護休を推進したいが、
他科にくらべ人的余裕がなく、男女ともに
やすむと多大な支障があり、周囲が疲弊して
しまう (男性意見)

老若男女が平等感をもって支え合うには？

- 給料はしっかり目に見える形で差をつけてもらってよい（女性意見）
- 常勤が面倒に思う事務的な仕事などを全体で把握してできる限りで非常勤で分け合えるとよいのでは。
- 男性も育休をとりたい（男性意見）
- 仕事の免除の部分をどう穴埋めするかは原始的ながら現実的な問題。
- 周りがサポートしてくれる分、勤務中は積極的に検査を行うなどしっかり働くよう心掛けています。（女性意見）